

浄土三部経(下) 岩波文庫

爾時仏告、長老舍利弗、從是西方、過十萬億那由他の諸佛、悉皆供養承事、蒙諸佛授記、當得阿耨多羅三藐三菩提。...

又舍利弗、極樂國土、七重欄楯、七重行樹、皆是四寶周匝圍繞。是故彼國、名曰極樂。...

浄土三部経(上) 岩波文庫

阿難白仏、法蔵菩薩、為已成仏、而取滅度、為未成仏、為今現在。して滅度を取りたまえりや、はた、未だ成仏したまわらずや、...

阿難又問、其仏成道已來、為選幾時。仏言、成仏已來、凡歷十劫。其仏國土、自然七宝、金銀瑠璃、珊瑚琥珀、磤磤碼碼、合成...

復次、舍利弗、彼國常有種種奇妙難色、白鶴、孔雀、鸚鵡、舍利、迦陵頻伽、共命之鳥、...

しかる後、卅余年を経て、稲目の大臣病を得、危ふきに望めり。時に池辺皇子と大々王との二柱の前に後言して白さく、「仏法を修行したまふべしと我れ白すに依りて、天皇修行し賜ふなり。...

時にかくのごとく命を承り已りて、壬寅の年、太后大々王と池辺皇子との二柱、心を同じくして牟久原の殿を指井に遷して、癸卯に始めて桜井道場と作し、灌仏の器を隠し蔵めき。...

次に、甲賀臣、百濟より石の弥勒菩薩像を持ち度り来たり。三柱の尼等、家の口に持きて供養し礼拝ひき。時に按師首、飯食の時に、舍利を得て、以て大臣に奉りき。...

又講堂精舎、宮殿樓觀、皆七宝莊嚴、自然化成。復以真珠明月摩尼衆宝、以為交露、覆蓋其上。...

べき者は、即ち比丘の身を現はして説法をすといふは、それこれを謂なり。今亦、更に仏法興りて世に弘まり、元興寺を建つ。本の名は、故、建興寺と称名けたまふ。次に法師寺は、高麗・百濟より法師等重ねて来たり、...

十三年歳次乙丑の四月八日戊辰、銅二万三千斤、金七百五十九兩を以て、敬みて尺迦丈六像、銅・繡の二軀、并びに狹侍を造りたまつる。高麗の大興王、方に大倭と睦み、三寶を尊重し、遙かに、隨喜び、黄金三百廿兩を以て、大福を助成し、同心結縁し、...

僧綱、三綱の牒に依り、件の事を檢べ詔んぬ。よつて恒の式として以て遠代に伝ふ。謹みて、仏法を紹隆しまさに天朝を護らむとするを請ふ、てへり。...

大僧部 行信 天平廿年六月十七日 佐官業了僧 佐官業了僧一人 次佐官業了僧三人 佐官業了僧二人